

2025年 本土復帰53年 第48回

『5.15沖縄平和行進』

全港湾関西地方神戸支部山陽バス分会

大西 優輝

5月16日に第48回沖縄平和行進の開会式と団結式がなは一と会館で執り行われました。

会場には全国から集まった労働組合員で埋め尽くされていました。

式が終わった後はホテルで全港湾組合員による懇親会が行われました。

5月17日の2日目は普天間基地と嘉手納基地の2つのルートに分かれて行進を行いました。自分は普天間基地ルートを行進しました。

終着点のAgreスタジアムの県民大会で平和行進の健闘とこれからの沖縄の在り方に付いてお話がありました。

その後は沖縄地本の方々に青年部交流会BBQを開いて頂きました。

5月18日の3日目は普天間基地を見るために嘉数高台へ行き、嘉手納道の駅の展望デッキで嘉手納基地を見て米軍基地が沖縄の領土をどれだけ占領しているかの説明をして頂きました。

その後、平和記念資料館とひめゆりの塔へ行き沖縄の戦争がどれだけ多くの犠牲になったのかを学び、建設中の辺野古基地を遠目からですが見る事ができました。夜は最後の懇親会を開いて頂き全日程が終了しました。

今回の平和行進に参加して思った事はこれまでニュース等を見て沖縄のことについて見たり聞いたりしてきましたが、自分の見ていたのはほんの一部であった事を実感しました。

現地に行って肌で感じることで学ぶことが多々あると思いました。平和資料館では時間の関係で流れ作業になってしまいましたが、戦争とはどういったものなのかを学ぶことができました。

ひめゆりの塔では看護学生が戦争の救護に駆り出され自分の生命と引き換えに救助活動に奔放し亡くなったことが資料に書いてあり、このような事が二度とない国になって欲しいと改めて実感しました。

また、今回で学んだ事を後世に残していけるように自分には何ができるのかを考えさせられると共に自身の今があるのは過去に犠牲になってしまった方々の頑張りがあってこそだと思いました。